

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	56	事務事業名 (中事業名)		食育推進事業 ()					
予算科目	06	01	03	大事業	08	中事業	00	担当課名	農水振興課
総合計画施策コード	141		事務開始年度	平成19年度		備考			
根拠法令等	食育基本法				作成月	令和3年9月			

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	市民一人ひとりが食の大切さを理解し、食育を通じて様々な問題に働きかけることができる知識と力を習得し、多様な食育活動を活発化していくことを目的とする。
事業の対象 (誰(何)のために)	市民全般・保育園・幼稚園・学校・地域・企業・生産者等
事業の概要 (具体的に何を)	市内小中学校における食育授業、公募による地産地消料理教室(親子・個人対象)・農業体験、中高校生を対象としたアイデア朝ごはんコンテスト、市内18小学校における米づくり農業体験授業、食育学習用冊子の配布(一般・学校等)、食育推進会議の実施、食育推進計画の策定

●事業費の内訳【DO】

項目	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
事業費①	1,661,053円	1,359,318円	5,642,000円	
事業にかかる人工	0.50人	0.50人	0.50人	
事業にかかる人件費②	3,593,779円	3,633,226円	3,641,389円	
総事業費③(①+②)	5,254,832円	4,992,544円	9,283,389円	
総財源内費 の ③	使用料・手数料	8,800円	1,660円	19,000円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	579,000円	525,000円	605,000円
	市費	4,667,032円	4,465,884円	8,659,389円
	その他	0円	0円	0円
R2 総事業費③の対前年度差額	-262,288円	R2 総事業費③の対前年度比率	-4.99%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事業費の中の 主な支出項目 (R2決算額)	項目	概要		金額
	委託料	食育推進活動業務委託料(280,000円)、食育啓発用物品作成業務委託料(79,200円)		359,200円
	需用費	消耗品費(249,858円)、印刷製本費(132,400円)		382,258円
	交付金	食料産業・6次産業化交付金(市内18校農業体験に対する交付金)		525,000円

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけ成果(成果指標)を得るために、どれだけ活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的						
	具体的な指標	各種食育事業、体験授業等の受講者数を増やし、食や地産地消に興味関心を持つ人数の増加。					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	2,000	人	2,000	人	2,000	人
	実績値	1,897	人	1,874	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	各種食育事業、体験授業等の開催					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	23	回	23	回	23	回
	実績値④	32	回	26	回	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		令和元年度	令和2年度		令和3年度		
		164,214円	192,021円		*****		

●担い手の点検と事業の終期【DO】

事業の委託状況	一部委託している	委託の内容	市内小中学校食育授業・啓発用品作成
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	令和4年度
事業の終了時期が未定の場合の理由	学校の授業の一環として、学校から要望があり実施をしている事業であるため、学校と内容を調整し見直すことは可能であるが、事業を終了することは困難である。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価項目		
	評価	評価	評価	評価	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)	◎	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	○
	国・県・市・民間との役割は適切か	◎		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	◎
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか	○		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	◎
	事業に対する市民ニーズを把握しているか	◎		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	◎
有効性	事業の目的は達成できているか	○	公平性	受益者に偏りはないか	○
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	◎		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	◎
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	○		受益者負担の割合は適切か	◎
	他市町村と比べて上位に位置しているか	◎		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	○
評価の総合的なコメント	食育の大切さを伝える体験事業や普段体験できない事業、また楽しく食育を学ぶ各種教室を実施することで、食育に興味関心を持った人を増やすという大きな効果が認められる。				
事業の方向性	(評価)	2 今後は、内容を見直して事業を拡大する			
	(理由)	第4次西尾市食育推進計画が令和4年3月に策定され、今までの課題を見直し、今後の目標に向けて更なる食育推進事業を実施していく。			
民間委託又は市民協働拡大の方向性	今後個人・団体・企業等とネットワークを構築させ、更なる食育推進に向けた取組みをする。				
事業全体の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・食育プログラム・食育キャラクターの普及促進 ・個人・団体・企業等とのネットワークの構築 				

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	他市ではまだ実施していない事業（市内小学校での米づくり農業体験授業・市内小中学校食育授業等）を先進的に実施している。
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	農業体験はとても貴重な時間となった。食べ物を育てる事の大変さを実感してもらい、食べ物を大切にしてほしい。（令和3年2月市内小学校での米づくり農業体験授業の児童意見・保護者アンケート）
-----------------	---

●改善案【ACTION】

今後の改善策	料理教室等に新たなメニューを取り入れ、地元産の食材や郷土料理、伝統食等と一緒に学ぶことができる内容にする。また、学生向けだけでなく、大人向けの食育講座も沢山実施していくことで、色々な年齢層が食について学ぶ機会を増やす。
--------	---

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	58	事務事業名 (中事業名)	鳥獣害対策事業 ()						
予算科目	06	02	01	大事業	02	中事業	00	担当課名	農水振興課
総合計画施策コード	523			事務開始年度	平成23年度		備考		
根拠法令等	西尾市鳥獣被害防止計画						作成月	令和3年9月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	鳥獣による農作物の被害を軽減する
事業の対象 (誰(何)のために)	各農業部会、地域住民
事業の概要 (具体的に何を)	田畑や果樹園周辺を中心に、市内全域で有害鳥獣(カラス、カワラバト等)の銃による捕獲を実施する

●事業費の内訳【DO】

項目	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
事業費①	723,844円	755,320円	807,000円	
事業にかかる人工	0.16人	0.16人	0.16人	
事業にかかる人件費②	1,150,009円	1,162,632円	1,165,244円	
総事業費③(①+②)	1,873,853円	1,917,952円	1,972,244円	
総財源業内費 の ③	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	1,873,853円	1,917,952円	1,972,224円
	その他	0円	0円	0円
R2 総事業費③の対前年度差額	44,099円	R2 総事業費③の対前年度比率	2.35%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事業費の中の 主な支出項目 (R2決算額)	項目	概要	金額	
	委託料	銃器による有害鳥獣捕獲事業委託料723,844円 一式	723,844円	

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的						
	具体的な指標	農作物の被害額					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	25,360	千円	22,050	千円	21,367	千円
	実績値	22,738	千円	22,733	千円	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	捕獲(駆除)した鳥獣の数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	220	匹	220	匹	220	匹
	実績値④	247	匹	216	匹	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		7,586円		8,879円		*****	

事業の委託状況	全て委託している	委託の内容	捕獲業務
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	令和6年度
事業の終了時期が未定の場合の理由	有害鳥獣による被害は一時的なものではなく、被害の軽減には継続的な対策の実施が必要であるため。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない —:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)	○	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	△	
	国・県・市・民間との役割は適切か	◎		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	◎	
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか	◎		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	◎	
	事業に対する市民ニーズを把握しているか	◎		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	○	
有効性	事業の目的は達成できているか	○	公平性	受益者に偏りはないか	◎	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	◎		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	◎	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	◎		受益者負担の割合は適切か	—	
	他市町村と比べて上位に位置しているか	○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	◎	
評価の総合的なコメント	例年一定数の結果をあげており、有害鳥獣被害対策として有効であると判断できる。					
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める				
	(理由)	現行手法の継続によって、今後も被害対策としての効果が見込めるため。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	現時点で駆除業務は全面的に民間委託を行っている。受益者側でも自己防衛対策を実施しており、双方にできることを行っている点で、市民協働も実現していると言える。					
事業全体の課題	銃による捕獲では、対象鳥獣の個体数を大幅に減らすことは困難であり、被害を0にすることは現実的ではない。捕獲による対策を行う一方で、対象鳥獣の生息域を市街地に拡げないための取組を、地域住民一人ひとりが意識して行ってもらい必要がある。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	各市町村で同類の事業を実施。ただし、地域によって生息する鳥獣の種類及び数量、被害の状況などに違いがあるため、具体的な実施作業は市町村によって異なる。
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	地域の畑の作物が、カラスにより荒らされてしまっている。駆除、もしくは威嚇の空砲などで対応してくれないか。(R1.7 某区町内会長来庁により依頼)
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	地域や団体からの情報及び要望を蓄積し、捕獲実施時には重点取組地域を指定するなど、効果的な被害防止が実現できるよう事業を展開する。
--------	--

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	59		事務事業名 (中事業名)	森林病虫害等防除事業 ()					
予算科目	06	02	01	大事業	04	中事業	00	担当課名	農水振興課
総合計画施策コード	521			事務開始年度	不明			備考	
根拠法令等	愛知県森林病虫害等防除補助事業実施要領						作成月	令和3年9月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	地域森林計画対象民有林にある松を森林病虫害（マツクイムシ）から守る。
事業の対象 (誰(何)のために)	地域住民、観光客
事業の概要 (具体的に何を)	一色町佐久島と吉良町宮崎にある松林を保護するため6年間のローテーションで松くい虫予防薬剤を樹幹注入する。

●事業費の内訳【DO】

項目	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
事業費①	4,933,394円	6,280,269円	6,897,000円	
事業にかかる人工	0.20人	0.20人	0.10人	
事業にかかる人件費②	1,437,512円	1,453,290円	728,278円	
総事業費③(①+②)	6,370,906円	7,733,559円	7,625,278円	
総財源業内費 の ③	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	1,195,600円	432,000円	1,200,000円
	県からの支出金	597,800円	216,000円	600,000円
	市費	4,577,506円	7,085,559円	5,825,278円
	その他	0円	0円	0円
R2 総事業費③の対前年度差額	1,362,653円	R2 総事業費③の対前年度比率	21.39%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	対象松数が年度により変わることと、伐倒駆除が多かったため			
事業費の中の 主な支出項目 (R2決算額)	項目	概要	金額	
	委託費	樹幹注入 524本×5772.9円、315本×5409円	4,907,600円	

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的						
	具体的な指標	松枯れの伐倒駆除本数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	5	本	5	本	5	本
	実績値	17	本	8	本	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	樹幹注入をした松の数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	120	本	146	本	160	本
	実績値④	186	本	188	本	*****	
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	令和元年度	令和2年度		令和3年度			
	34,252円	41,136円		*****			

●担い手の点検と事業の終期【DO】

事業の委託状況	一部委託している	委託の内容	樹幹注入、伐倒駆除
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	令和2年度
事業の終了時期が未定の場合の理由	森林病虫害防除を終了すれば大規模な松枯れにつながる可能性があるため終了は困難であるが、地区の見直しなど事業実施の選木を行う必要はある。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)	◎	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	—	
	国・県・市・民間との役割は適切か	◎		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	○	
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか	◎		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	—	
	事業に対する市民ニーズを把握しているか	◎		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	◎	
有効性	事業の目的は達成できているか	○	公平性	受益者に偏りはないか	◎	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	○		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	◎	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	—		受益者負担の割合は適切か	—	
	他市町村と比べて上位に位置しているか	—		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	◎	
評価の総合的なコメント	実施個所が年々ローテーションで変わるため年度ごと対前年は適当でない。					
事業の方向性	(評価)	3 今後は、内容を見直して事業を縮小する				
	(理由)	林相が変わってきていて松を存続させる必要性の検討が必要。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	人工の部分で事前調査についても委託する。					
事業全体の課題	自然的要因が大きい部分があり、国費対象とならない部分についても実施が必要な部分もある。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	K市 松くい虫防除事業
---------------	-------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	なし
-----------------	----

●改善案【ACTION】

今後の改善策	今年度から現地調査の一部を委託で実施、また防除の必要性の有無も専門家の意見を聞きながら実施していく
--------	---

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	60		事務事業名 (中事業名)	あいち森と緑づくり事業 ()					
予算科目	06	02	01	大事業	05	中事業	00	担当課名	農水振興課
総合計画施策コード	521			事務開始年度	平成24年			備考	
根拠法令等	愛知県あいち森と緑づくり事業交付金交付要綱						作成月	令和3年9月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	森林が持つ環境保全機能や公益的機能を回復するため。
事業の対象 (誰(何)のために)	市民
事業の概要 (具体的に何を)	手入れされず荒廃した里山林を管理しやすくするため、あいち森と緑づくり事業(県交付金事業)を活用して、地権者と協定を結び、竹の伐採など森林整備を実施する。

●事業費の内訳【DO】

項目	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
事業費①	10,339,980円	20,084,900円	0円	
事業にかかる人工	0.20人	0.20人	0.00人	
事業にかかる人件費②	1,437,512円	1,453,290円	0円	
総事業費③(①+②)	11,777,492円	21,538,190円	0円	
総財源内費 の ③	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	9,744,980円	19,705,400円	0円
	市費	2,032,512円	1,832,790円	0円
	その他	0円	0円	0円
R2 総事業費③の対前年度差額	9,760,698円	R2 総事業費③の対前年度比率	82.88%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	事業地、事業内容が年度により異なるため			
事業費の中の 主な支出項目 (R2決算額)	項目	概要	金額	
	委託料	森林整備委託料	20,084,900円	

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的						
	具体的な指標	事業に参加した地権者数や問い合わせ人数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	10	人	1	人	1	人
	実績値	1	人	1	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	整備した事業面積 (㎡)					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	20,000	㎡	20,000	㎡	0	㎡
	実績値④	24,000	㎡	32,000	㎡	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		491円		673円		*****	

●担い手の点検と事業の終期【DO】

事業の委託状況	一部委託している	委託の内容	森林整備業務
事業の終了時期	令和10年	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	
事業の終了時期が未定の場合の理由			

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価	評価項目		評価	評価項目		評価
	妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)		◎	効率性	単位コストは、前年を下回っているか
国・県・市・民間との役割は適切か			◎	事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか		◎
変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか			◎	委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか		◎
事業に対する市民ニーズを把握しているか			◎	事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか		◎
有効性	事業の目的は達成できているか		◎	公平性	受益者に偏りはないか	◎
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		◎		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	◎
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		—		受益者負担の割合は適切か	◎
	他市町村と比べて上位に位置しているか		○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	◎
評価の総合的なコメント		地域の要望により実施しているためおおむね適正である。				
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める				
	(理由)	県費事業であり、要望があれば実施していく(令和3、4年度は要望がない)。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	事業自体が市民協働内容。					
事業全体の課題	県事業であるため採択の如何により実施時期、内容が左右される。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	H29 県下3市(西尾市を除く)
---------------	------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	なし
-----------------	----

●改善案【ACTION】

今後の改善策	採択要件で団体が必要となるため、団体の育成も含めて検討していく
--------	---------------------------------